

医療センターニュース

編集：三重県立総合医療センター広報紙編集委員会

<http://www.mie-gmc.jp/>

〒510-8561 四日市市大字日永5450-132 TEL (059) 345-2321 (代表)

E-mail: sogohos@mie-gmc.jp

今年もやります!「クリスマスコンサート」

当院では、患者さんをはじめ地域の皆さんと一緒に参加し、楽しんでいただける行事として、今年も、12月17日(土)に、院内1階エントランスホールにおいて、「クリスマスコンサート」を開催します。

当院の医師、看護師、薬剤師、作業療法士などで構成する「GMCアンサンブル」によるおなじみの演奏会やハンドベル演奏のほか、バルーンアートの実演コーナーもあります。



過去のクリスマスコンサートの様子

当日は、13時開場、13時30分開演の予定です。

年末に向けての慌ただしい時期ではありますが、地域の皆さんと楽しいひと時を過ごしたいと思います。入場無料ですので、ぜひ、ご来院ください。

県立総合医療センターの基本理念・基本方針

基本理念

- 1 救命救急、高度、特殊医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
- 2 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。

基本方針

- 1 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。
- 2 県の基幹病院として医療水準の向上に努めるとともに、医療人材の育成に貢献します。
- 3 県内医療機関との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
- 4 職場環境を改善し、職員のモチベーションの向上に努めます。
- 5 責任と権限を明確にした自律的・自主的な経営を行います。

もくじ

今年もやります!「クリスマスコンサート」……………1	インフルエンザの予防について……………3
医療のTQM活動全国大会に参加しました……………2	当院の協力病院(連携医療機関)紹介 医療法人誠仁会 塩川病院……………4
北勢緩和ケアネットワーク 市民公開講座を開催しました……………3	

医療のTQM活動全国大会に参加しました



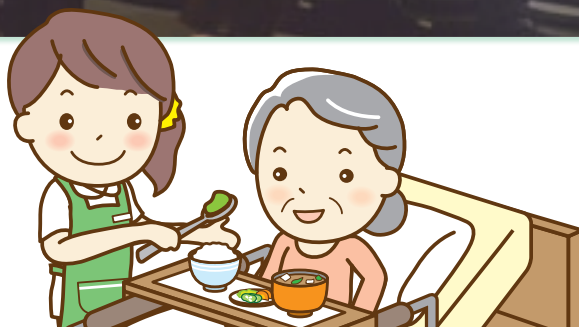
当院では、患者満足度や医療・看護サービスの向上など、職員個人では改善が難しい課題について、サークル活動を通じて、問題の原因を探りながら改善策を検討し、現場に生かしていく取り組みとして、平成16年度からTQM(Total Quality Management)活動に取り組んでいます。

毎年、院内でのサークル活動を発表する大会を開催して、お互いの活動を学びながら高めることとしており、昨年は15サークルが発表を行いました。

去る10月28日・29日に、医療のTQM活動全国大会が岡山県倉敷市で開催され、当院からは昨年度の院内大会優勝サークルである「看護部2西病棟サークル『寝たままでも食べられるもん』」が参加し、「ログロール安静※患者の食事環境の見直し」をテーマに発表を行いました。

大会では、ログロール安静中の患者さんが、食事を楽しみながら、自分のペースで食べることができるように、メニューや食器の見直しなど食事環境や、介助方法の改善を行った取り組みを紹介しました。

惜しくも入賞はできなかったものの、審査員から、「対策がどれも具体的で、良く考えられている。」、「同様の取り組みが他病棟へも拡大するなど、水平展開ができていて優れた取り組みである。」などの評価をいただきました。



今後も、これまでの取り組みを一過性のものに終わらせるのではなく、院内での定着化に努めるとともに、引き続き、TQM活動を通じた改善活動に取り組んでいきたいと考えています。

※「ログロール安静」とは、安静が必要で自分で体位の変換ができない患者さんの状態のことです。

北勢緩和ケアネットワーク市民公開講座を開催しました

去る10月30日(日)に、四日市プラトンホテル3階ダイヤモンドホールにおいて、四日市薬剤師会さんとの共催で、「北勢緩和ケアネットワーク市民公開講座」を開催しました。

北勢緩和ケアネットワークとは、北勢地域にある17の医療機関が連携して、より良い緩和医療の提供をめざす組織で、平成26年4月から当院が事務局を担っています。

今回は、当ネットワークの副代表でもある、笹川内科胃腸科クリニックの山中賢治院長を講師にお迎えし、「『旅立ちに向けて』～あなたはどこで最期をむかえたいですか～」と題した講演会を開催し、200名を超える方々にご参



加いただきました。

当日は、四日市地域における在宅医療への取り組みや、在宅医療に向けた支援体制が全国的にもかなり充実している点などについて、さまざまなデータやご自身の体験をもとにわかりやすくお話ししていただき、皆さん熱心に聞き入っていました。

当ネットワークでは、これからも、皆さんとともにより良い緩和医療について考えていきたいと思っております。

インフルエンザの予防について

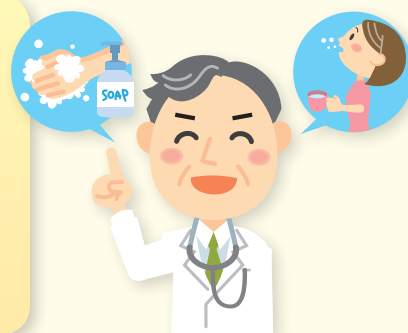
日ごとに寒くなってきました。季節性インフルエンザは、多くは自然に治癒しますが、重症化により生命に危険が及ぶ場合があります。

インフルエンザを発症する人の多くは15歳以下の子どもです。学校では発症後5日を経過し、かつ、解熱した後2日を経過するまで、出席が停止となります。また、乳幼児では肺炎やインフルエンザによる入院のリスクが高くなる傾向にあり、特に注意が必要です。

そして、インフルエンザによる死亡者の圧倒的多数を占めるのは65歳以上の高齢者です。高齢者がインフルエンザにかかると肺炎などの合併症を起こしやすいため、高齢者にとってインフルエンザは「最後の灯火を消す病気」とも言われています。

次の点に注意し、この冬もインフルエンザを予防しましょう。

- ① インフルエンザの流行前にインフルエンザワクチンを接種する
- ② インフルエンザが流行したら人込みや繁華街への外出を控える
- ③ 外出時にはマスクを利用する
- ④ 室内では加湿器などを使用して適度な湿度を保つ
- ⑤ うがい、手洗いを励行する
- ⑥ 十分な休養とバランスの良い食事をとる



当院の協力病院（連携医療機関）紹介 第30回

医療法人誠仁会 塩川病院 院長 坂 洋一

診療科目

内科、神経内科、消化器内科、外科、
整形外科、脳神経外科、皮膚科、リハ
ビリテーション科、放射線科、麻酔科

外来受付時間

9:00	月	火	水	木	金	土	日
12:00	○	○	○	○	○	○	△

15:00	月	火	水	木	金	土	日
18:30	○	○	○	○	○	△	△

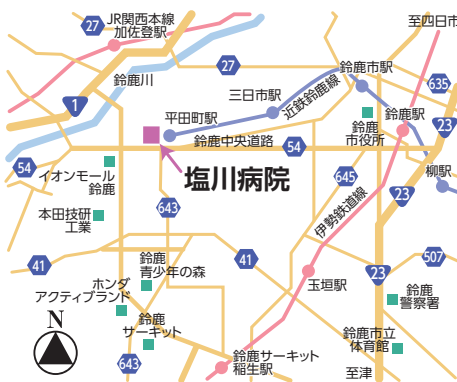
休診日

■土曜日午後・日曜日・祝日・年末年始
※診療科により異なりますので、詳しくは
お問い合わせください。



所在地

〒513-0844
三重県鈴鹿市平田一丁目3番7号
TEL 059-378-1417



当院は、単なる緊急時に対応する病院に留まらず、健康で生きがいのある生活を取り戻す喜びの瞬間までを医療と考え、病気の予防から総合的な診断、治療、リハビリテーション、介護まで地域の方が受診されてから在宅生活されるまでを、一貫して診ていける病院を目指して地域医療に取り組んでいます。

疾病の早期発見、早期治療の為、健康のトータルチェックをする人間ドック、脳ドック、各種健康診断を始め、ガンマナイフ（これまでに約3100件治療）、PET-CT、MRIなどの高度先進医療を導入し、体に負担の少ない診断・治療を行っています。また、急性期から回復期へと患者さまがスムーズに移行できるよう、県立総合医療センターを始め地域の病院と各科の専門医療やリハビリテーションなどの連携を図っています。

入院から退院、そして在宅生活まで患者さまが安心して継続できるよう、リハビリ部門と介護部門で密な連携をとり、患者さまの全体像を見据えた総合リハビリテーション実現の為、医療・福祉連携リハビリテーションチームアプローチを実施しています。各病棟には365日患者さまにリハビリを実施するため、リハビリスタッフが常勤しており、リハビリの実施をバックアップするため患者さまには担当ソーシャルワーカーが退院後の生活計画まで幅広くサポートしています。また、回復期リハのみならず維持期リハビリテーションが介護保険下で受けられるよう入所施設



（老健・特養・有料老人ホーム・ケアハウス）、通所（デイケア・デイサービス）、居宅介護支援事業所・西部地域包括支援センター等の当病院関連施設と連携し、患者さまの状態を総合的に判断し、各専門家がチームになって一丸で行う医・福連携リハビリテーションを実践しています。

文責：塩川病院地域連携室

地域医療機関の先生方へ

救急外来への患者さんの紹介についてお願い

救急外来へご紹介いただく患者さんの状態は、一刻を争うことが多々あります。正確な情報が必要となりますので、地域連携課を通さずに、**代表電話(059-345-2321)**を通して、救急外来担当医師と直接お話をさせていただきますようよろしくお願いいたします。